

新型コロナウイルスについて 皆さまに知ってほしいこと

～追加(3回目)接種篇～



3回目接種により、感染予防効果や重症化予防効果を高めることができます。

日本で接種が進められているワクチンは、デルタ株等の新型コロナウイルスに対して、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果についても、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されています。

一方、3回目接種により、低下した感染予防効果や重症化予防効果等を高める効果があることが、臨床試験や様々な疫学研究等で報告されています。



3回目接種に用いられるファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンは、同じ種類のワクチンで、いずれも薬事承認において高い効果が確認されています。

3回目接種に使用するファイザー社又は武田/モデルナ社のワクチンは、いずれも同じmRNAワクチンという種類のワクチンです。オミクロン株に対する1・2回目接種による効果は、時間の経過により低下しますが、3回目接種で回復し、3回目の接種をした人の方がしていない人よりも、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。



3回目接種後の副反応は、いずれのワクチンも、2回目と同様の症状が見られますが、武田/モデルナ社のワクチンについては、2回目と比べて、発熱などの症状が少ないことが報告されています。

ファイザー社及び武田/モデルナ社の薬事承認において、3回目の接種後7日以内の副反応は、一部の症状の出現率に差があるものの、おおむね1・2回目と同様の症状が見られています。

武田/モデルナ社のワクチンにおける3回目接種は、1・2回目接種で用いた量の半分の量となります。

(注) 接種後の症状のうちリンパ節症は、2回目より3回目の方が多く見られます。

出典：特例承認に係る報告書より



新型コロナウイルスについて皆さまに知ってほしいこと

～追加(3回目)接種篇～



交互接種(1・2回目接種とは異なるワクチンを使用)した場合でも十分な効果と安全性が確認されています。ご自身のためにも、早く接種できるワクチンから接種いただくことをお勧めします。

日本では現在、3回目接種に関して、ファイザー社又は武田/モデルナ社のワクチンが薬事承認されていますが、1・2回目接種時に用いたワクチンの種類にかかわらず、どちらのワクチンでも十分な効果と安全性が確認されています。

米国・英国・ドイツ・フランスなどでも、1・2回目接種で使用されたワクチンの種類にかかわらず、3回目接種で mRNA ワクチンが推奨されています。



継続的に安全性を確認し、安全性に関する情報を提供していきます。

3回目接種についても、接種開始後の継続的な安全性を確認するため、アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家による評価を行っています。副反応疑い報告状況や接種後の健康状況調査の公表等を通じて、引き続き、安全性に関する情報提供を行っています。



予約に空きがあれば、2回目接種日の6か月後から接種可能です。

追加接種の予約枠に空きがあれば、一般の方も2回目接種日の6か月後から3回目接種が可能です。外国人も含め、接種の対象となるすべての国民が、全額公費(無料)で受けられます。お住まいの市区町村から3回目用の接種券等が送付されましたら、ワクチンを受けたい医療機関や会場をお探しのうえ、予約をお願いします。対象であるにも関わらず、ご自宅に接種券が届かない場合は、お住まいの市区町村へお問い合わせください。

また、キャンセルが出て急遽接種を行う場合など、接種券がまだ手元になくても接種できる場合があります。



1・2回目接種がまだの方も、引き続き接種できますので、ワクチン接種をお願いします。

厚生労働省新型コロナウイルスコールセンター

0120-761770

※ 電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

受付時間

9時00分～21時00分
(土日・祝日も実施)

詳しくは
厚生労働省Q&A

